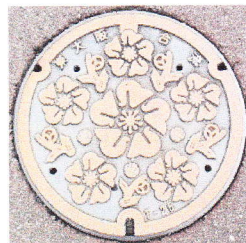




足もとで暮らしを支えるすぐれもの マンホールの蓋が、今、面白い!!



2019年1月11日（金）

講座・イベントプランナー／調理師 吉田清彦

1. サンテレビ「今週の“輝きさん”」（18年6月10日放送）DVD視聴（約10分）

2. マンホールブームの歴史と社会的背景、そして、マンホールカード

数次のミニブームを経て、ここ数年、“マンホーラー”が急速に増え続けている

3. 私がマンホール（の蓋）にはまったきっかけ

4. マンホール（探索）の魅力

- ・ きれい
- ・ 楽しい（いろいろな発見がある）
- ・ 健康によい（足腰が鍛えられる、速足になる）
- ・ そんなにお金がかからない（旅費、乾電池代くらい）
- ・ 社会性がある（自治体の「暮らし」の足元がわかる／生活・産業遺産）
- ・ いろんなところに行ける（計画を立てる楽しみ。ワクワク感+頭も使う）
 - 自然を満喫できる
 - たまに、土地の人との小さな触れ合いもある
- ・ ホームページで見てもらえる（+「順位」が上がる楽しみ）
 - 他の検索キーワードのSEO対策にも大いに貢献
 - ※見てもらうための工夫（きれい、オリジナリティ、撮影場所を表示する）

5. マンホール（蓋）の種類

(1) マンホールとは（豆知識）

正しくはマンホールの蓋、もしくはマンホール蓋（manhole cover）

manhole（人孔） cf. handhole

- ・材質：鋳鉄（FC）、ダクタイル鋳鉄（FCD）、FRP（繊維強化プラスチック）
- ・形：基本は丸型
- ・大きさ：直径 60cm が多い（海外でも 60cm 程度が基準になっている）
ほかに規格品として 90cm、45 cm、30 cm などがある
※親子マンホール
- ・重さ：昔は 60～80kg のものが多かったが、
材質の軽量化と強度の向上により、現在は 40 キログラム程度になっている
- ・種類：汚水、雨水、下水、合流
電気、電話、通信、道路、交通局、ガス／CCB（共同溝）
工水、農水、河川／上水
仕切弁、空気弁、制水弁、排水弁、排気弁、ドレン、バタフライ（蝶形）弁、
逆止弁、流量計室、減圧弁室、バルブ、止水栓、電防
消火栓（防火栓）、防火水槽、量水器（水道メータ）、排水溝蓋
- ・耐用年数：2003 年に「車道部で 15 年、その他で 30 年」に設定される
- ・マンホールとマンホールとの間の距離：
「掃除のために 30m おきに設置する」のが基準になっている

(2) マンホールのデザインについて

※JIS（規格模様）形マンホール（東京市型、名古屋市型）、蜂の巣型、テトラポット型

※デザインマンホール（自治体マンホール）（カラー、モノカラー、無色）

動植物（市の花、市の木、市の鳥）、観光名所（景観、山、川、行事、建物、城）など
／ゆるキャラ（※人物肖像はない）

※狭い地域独自のデザインマンホール（地域デザインマンホール）もある

※企業や大学、官庁などのマンホールもある

※自治体数：平成の大合併（1999 年～2006 年ごろ）で

市町村数が 95 年の 3,224 から 07 年 3 月に 1,812、10 年には 1,727 に

6. マンホール探索の舞台裏

- (1) 撮影計画を立てる：探索エリアを決める→列車の乗降駅を決める→列車の乗降時間を調べてタイムスケジュールを作成する→徘徊マップを作成する
※カラーマンホールがある場所（の見当のつけかた）
- (2) 撮影：天候・季節・時間／カメラ（乾電池式デジカメ）・撮影位置・距離
- (3) 編集：写真をパソコンに取り込む→写真を取捨選択する→画像編集ソフトで写真を補正する→ホームページ用のサイズに縮小する→編集する→ホームページにアップする

7. マンホール探索の難点（落とし穴）

- ・（ホームページに掲載するために）時間を膨大にとられる
- ・交通事故の危険性がある